

# 磐城時報

福島縣石城郡平町野邊町十四番地  
編輯兼發行人 岡田弘成  
印刷所 石城郡平町野邊町十四番地  
電話 一五五  
發行所 石城郡平町野邊町十四番地  
電話 一五五  
郵政掛號 第一四四號  
廣告料 一行十四字 日金五十字  
△日刊(日曜、祭日) 休刊

## 島倉檢事正の斡旋で 平署告訴事件取下

### 二十一日平檢事局で懇談

平町辯護士山野邊義政、安藤琢磨、町會議員吉田五平三氏が過般平劇場演説會に於て檢事正の斡旋を不法檢束であるとし平檢事局に對し關係者を告訴した事既報の如く平檢事局では其後詳細なる取調を行ひ近く起訴か不起訴が何れかに決定するであらうと見られてゐたが、該問題のため福島地方裁判所島倉檢事正は二十日來平し二十一日午前平檢事局に於て福島辯護士會長安藤琢磨、辯護士北川次男、原告山野邊、安藤、吉田三氏並に猪狩平警察署長等と會見懇談した結果全く意志が疏通したので三氏は二十一日正午告訴を取下げ圓滿に解決を告げた。

## 四倉築港問題

### 上京して陳情

石城郡四倉漁港修築については既報の如く同町では期成同盟會を組織しその筋に猛運動を試みてゐるが、去る十七日木村代議士、鈴木縣會議員外同盟會代表十余名出陣し加勢本縣知事に會見陳情の結果  
同港は農林省の指定港灣になつてゐないから財政逼迫の今日直ちに縣工事とすることはなくして豫會した。然しこのまま

## 子歙倉神社改築工事 中止を余儀なくさる

### 寄附二萬圓が未納のため 氏子總代區長等が協議

兼で改築中の平町縣社子歙倉神社は過般上棟式をあげ近く竣工する筈であるが、工費豫算八萬圓のうち既に六萬圓は支出し、残る二萬圓は寄附未納のため豫算なく工事中止のやむなく總代區長等は住吉屋本店に會合し善後策を協議した結果未納寄附を徴集するまで一時銀行から借入をなし工事を止めやうとの意見を提出したが結局何等纏まる處方部水稲被害については既報の如くであるが、この程平稅務署

## 平・四倉 兩行合併

### 本年未頃か

平銀行と四倉銀行の合同計劃は既報の如く兩銀行の重役である代議士木村清治氏の斡旋で順調なる進捗を見せ舊盆までには實現するものと見られてゐたに拘らず昨今行債の模様であるといふ返答に期成同盟會でも大之は休業銀行關係による財界動向に活氣つき近日中大舉して上搖のためであると言はれ實現時期は本年未頃になるであらうとつたが、全國港灣指定の可能性言はれてゐる。

## 山間部の 地租免除

天候不順のため石城郡の山間部水稲被害については既報の如くであるが、この程平稅務署

## 日勞黨 可兒氏來郡

日勞黨中央執行委員可兒義雄氏は二十日來平したが同氏は約六ヶ月の豫定で日勞黨磐城支部に滞在し黨勢の挽回に當る事になつた。

## 台所から 鍋を盗む

東白川郡宮本村大字上宇百目木生れ當時住所不定無職遠藤久治右工門(三七)は二十日午後三時半頃好間村大字北好間字澤板木高田勝三方留守宅表戸に錠をかけてあるのを破つて蓋所に入込み鍋一ヶ其他を窃取したので平署高子巡査が捕え取調した處去る八日警備村小野田警備隊隊舎宿所から縮緬兵兒帶一本價格七圓其他を窃取した事を自白した。

## 孟蘭盆 近づく

紅い火を焚く名物孟蘭盆もあと一週間迫つたが、不景氣な孟蘭盆の事とて舊十四日、十五日、十六日の三日間は東の空が白むまで踊らうと若人達は今朝その日を待つてゐる、平署でも野暮な取締りは抜きにして孟蘭盆気分をばささないやうにするの事である。

## 炭燒竈の猛火に飛込み

### ヒステリーの妻慘死

#### 全身眞黒焦げ

安積郡中野村字向町生れ當時三依り馬の健康診断を執行する等阪村大字差遣字館下平警署署官で執行者は組合上川技手で外に行製炭所製炭炭廠妻篠田ナツ農林省の畜産局より技術官來郡(四)は七月頃から神經痛のたすこと。め不眠症に陥つたため極度のヒステリーとなり常に死ぬと稱してゐたので家人は警戒を怠らなかつたが十七日午後七時頃夫鷹藏が隣家の葬儀に行つた際看守中であつた長男正の隙を見て戸外に出で炭燒竈中であつた燒釜の上部の石を取り外し猛火の中に飛び込んだが、母が居ないのを見て長男正は附近を捜索中炭燒竈の中で女のうめき聲が聞えるので水を注いで火を消し調理した處、全身眞黒になつて焼死してゐたナツを發見し届け出たので同村石井巡査檢死した。

## 子供のために

### 紺屋町生投

愚生の子供はやつと五歳だけゑど、この頃は童話の載つてゐる雑誌類を非常に好むので、そのうち尋常科讀本巻一を買つた、組織的にどんな風に子供に教へるものか、又これを見たいといふ好奇心も手傳つてのことであつた。さて買つてきた本に眼を通しつゝ、驚くことばかりにぶつ衝かる、兒童が初めて學校といふものに入り、初めて教はる教科書に「死ニマシタ」

## 小玉川水電投資について

### (上) 小田炭礦社長萩原申八氏談

此の度私共が發起者となつて創立致しつゝある小玉川水電株式會社の電力供給先きは今迄の例に依れば百「キロワツト」以上の電力供給契約は殆んど何處へでも許可されて居りますが電力供給區域などは決して心配ない事と思つて居ります。電燈會社で電燈をつける電力は「キロワツト」で十燭光が七八十燭光、百「キロワツト」で八千燭光、千「キロワツト」で八萬燭光が出来るのであり

(つづく)

### 白鳥鑛泉に 怪しい男

警備村大字白鳥鑛泉に數日前から早稻田大學生と自稱する男が滞在してゐるが、舉動不審なので平署で秘密に調査せんとした。處十九日夜姿を晦ましたので行衛捜索中であるが、偽大學生で共産黨系のもらしいと。


### 平校野球團通信 (十九日)

私達は愈々明日二十日第一回戦に不戦一勝となり六角小學校と對戦することに相成選手一同は頗る元氣渾満として必勝を期し居候而して参加校は高等科は廿六校、尋常科二十三校に有之候尚ほ六角小學校に優勝の望あり候。尋常科小學校に福島の附屬校の勝者と對戦するに相成候。先は取急ぎ御厚志を感謝し併て御通知申上候。

### 鳥御料理

蒲魚焼

平町南町平館隣り  
電話四二四番



榮共ト存共△  
融金ノ界問△  
富貯ハ味趣△  
圖堅ト意誠△

大東大  
計  
内  
縣△

リテ所振取ノ所ル至△  
一ノ正ハ申セテ時向△  
スワリ業ヲ會シエニ絶△

會商盡無城碧

亡妻トク本年新盆ニ相當リ候  
へ共提灯其ノ他ノ御惠贈乍失禮辭  
退仕候

草野 廣 吉  
極 越 小 路

故長男信男新盆相當り居候も  
時節柄提燈金品共一切御遠慮  
申度失禮ながら紙上を以て謹  
告仕候

馮目雄次郎

ギョウ提燈 大賣出し  
大内行燈 各種格安に提供致します  
丸形各種物

是非御出を御待して居ります  
電話六四九番

クニ 散  
定價二十錢三十錢  
五十錢六十錢

本劑は神經系の鎮痛強壯内服薬として藥化學的に成功せる新劑なり。故に頭痛、神經痛、リウマチ等の神經系の諸症に大なる効を奏す。直ちに試みよ。當地方信用ある各藥局各藥店に特約販賣せり。

特約店 平町五丁目角 山野邊藥局

有りがたき文明の大發明  
キンダガ 女返り器子  
金三五〇

平町田町 宇佐美藥局

## 月賦販賣

ゼブラカメラ  
ワイスカイ車

値下斷行 ◆ 價格 ◆

ワイオー(B)號	フリ式	金六拾五圓
ワイオー(A)號	フリ式	金八拾五圓
ゼアラ號	フリ式	金九拾五圓
アスカ號	フリ式	金百拾五圓
アスカ號	フリ式	金百拾五圓
アスカ號	フリ式	金百拾五圓
アスカ號	フリ式	金百拾五圓

○月掛、日掛の方法、奉仕事項等は御問合せ下さい。

惠比壽屋商店 (電話六六四番)

## 磐城病院 改稱

# 市原病院

平町田町(電話二一四番)

内科、小兒科 市原 卯太郎  
外科一般、婦人科 市原 陸太郎  
花柳病科 市原 三三男

## 謝恩最終大興行

御熱望の朝日新聞所載「日活超傑作品」  
◆原作：土師清二 監督：高橋壽康  
◆河部五郎、南光明、金子弘、石井貫治、酒井米子、伊東みはる、川上彌生、實川延二郎 主演

◆砂繪 呪縛

◆第一篇、第二篇、第三篇 全部上映  
◆名作の持つ物語りと、映畫の有する藝術表現の極致とが相融合して、生み出された不朽の傑作。その監督手法に、条件を満たして、除くべき完全無欠の作品なるを以て全世界に誇らるべき映画。  
◆日活現代派作品 原作：田村虛舟 監督：三枝源次郎

◆名演 日活のカラー映画 津島嘉子 主演  
◆普通席 金十錢 ◆土曜日學生割引  
八月廿二日より 常設

## 外科専門

診療科目：花柳、外科、一般科

診察時間：午前八時より午後九時まで  
但し急患は此の限にあらず

平町田町大通り(電話四三六番)

入院隨意

安齋外科醫院

## 二葉印刷所

平町 字 仲町  
電話 七三四番

## 夏の飲料

◆サッポロピール  
◆金線サイター  
◆純粕取焼酎 ◆(空瓶交換)  
◆御注文次第直ちに配達いたします

平町四丁目手廻通り  
永山酒造店出張販賣所  
電話二〇七番

## 貸家

田町 商店向	貳拾五圓	白銀町 商店向	八圓五拾錢
白銀町 商店向	四圓拾錢	仲町 商店向	貳拾六圓
仲町 商店向	四圓五拾錢	仲町 商店向	六圓
柳町 商店向	八圓五拾錢	仲町 商店向	七圓
同	八圓五拾錢	同	七圓五拾錢
同	八圓五拾錢	同	七圓五拾錢
同	八圓五拾錢	同	七圓五拾錢

平町 白銀町(電話三二番)

## 加藤丈夫營業所

農薬用消毒殺虫薬品の御用は  
養用寒暖計

平町五丁目角 山野邊藥局